

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	花園大学
設置者名	学校法人 花園学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
文学部	仏教学科	夜・通信	62	0	60	122	13	
	日本史学科	夜・通信			18	80	13	
	日本文学科	夜・通信			20	82	13	
社会福祉学部	社会福祉学科	夜・通信		0	87	149	13	
	臨床心理学科	夜・通信			102	164	13	
	児童福祉学科	夜・通信			105	167	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.hanazono.ac.jp/pdf/about/disclose/2019jitumukeiken.pdf">https://www.hanazono.ac.jp/pdf/about/disclose/2019jitumukeiken.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	花園大学
設置者名	学校法人 花園学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.hanagaku.jp/summary/yakuin2019.5.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元証券会社勤務 元地方自治体議員	4年 (2018. 4. 1 ～2022. 3. 31)	組織運営体制へのチェ ック機能
非常勤	元保育園園長	4年 (2017. 7. 25 ～2021. 7. 24)	組織運営体制へのチェ ック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	花園大学
設置者名	学校法人 花園学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスについては、例年1月上旬を締切として前年11月に作成依頼をしている。作成にあたっては、「講義概要(シラバス)作成要項」と入力用の「WEB シラバス教員用マニュアル」を配布している。</p> <p>授業の概要、授業計画表、到達目標、成績評価方法や留意事項など、それぞれ詳細に説明し作成依頼をおこない、教員が直接入力し作成している。</p> <p>全科目のシラバスを、学務課並びに第3者(学部長・学科主任等)が内容をチェックした後、単位登録開始時期に合わせて、3月下旬頃ホームページに公表している。</p> <p>実務経験のある有無については、3月以降に調査したため、今年度シラバスへの掲載に間に合っていない。次年度は、様式上、欄を設け記載することとしている。</p> <p>両学部(全学)で同一内容。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://cpwh.hanazono.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx">https://cpwh.hanazono.ac.jp/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>到達目標に対する達成度を基に評価方法及び基準(定期試験、小テスト、課題レポート、授業での発表、提出物、授業態度等)をシラバスに明記し、それに基づいて総合的に評価している。</p> <p>両学部(全学)で同一内容。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「成績評価基準」(秀=S、優=A、良=B、可=C、不可=D、K)に基づいて評価したG P A対象授業科目(教職・資格、その他随意科目を除く)のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にG P (Grade Point)【S=4、A=3、B=2、C=1、D/K=0】をかけ、その合計ポイントを、それぞれの単位数の総和で割って計算した1単位あたりのG P 平均値(Average)を出している。これにより、講義に対する学生の学習意欲を高め、責任ある履修登録の促進を図り、適切な履修指導をおこなっている。</p> <p>取得単位数という量的な判断に加えて、質的観点からの判断の材料となり、履修指導のほか、成績優秀者、奨学金の受給、退学勧告などの判断材料として利用している。</p> <p>学生は、G P Aは半期毎に通知する成績通知書等で確認することができる。</p> <p>履修登録取消制度を設けており、取消期間中に申請することにより科目を取り消すことができる。</p> <p>また、再履修で合格した場合、過去の「不可」の成績は、原則としてG P A計算式に入らない。</p> <p>両学部(全学)で同一内容。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.hanazono.ac.jp/about/grading_system.html">https://www.hanazono.ac.jp/about/grading_system.html</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>文学部 人間という存在の本質について深く考え、その人間によって構成される社会の在り方に関して深い洞察力を身に付け、すぐれた社会人としての見識を獲得したことをもって、本学部の学位授与要件とする。単なる知識の習得にとどまらず、社会の中で正しく生きていくための幅広い素養が学生の身についたことを確認することが、本学部の学位授与方針の第一義である。</p> <p>社会福祉学部 利他の精神による社会への参加・貢献の精神と、他者を認め、理解する能力が身につけていること、さらに進んで、たゆまぬ自己追究と自己変革を通じて、伝統文化への深い理解と継承を図り、現代における諸課題に対応できる高度な教養と学術を身につけることにより、建学の精神である「禪的仏教精神による人格の陶冶」の理念が具現化できていることをもって、本学部の学位を授与する要件とする。</p> <p>卒業に必要な単位数は全学部で124単位となっており、卒業判定については、4回生の受講登録終了後、前期成績確定後、後期成績確定後の年間3回実施し、連合教授会の議を経て、学長が決定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#diploma01">https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#diploma01</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	花園大学
設置者名	学校法人 花園学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://www.hanagaku.jp/summary/index.html">http://www.hanagaku.jp/summary/index.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://www.hanagaku.jp/summary/index.html">http://www.hanagaku.jp/summary/index.html</a>
財産目録	<a href="http://www.hanagaku.jp/summary/index.html">http://www.hanagaku.jp/summary/index.html</a>
事業報告書	<a href="http://www.hanagaku.jp/summary/index.html">http://www.hanagaku.jp/summary/index.html</a>
監事による監査報告(書)	<a href="http://www.hanagaku.jp/summary/index.html">http://www.hanagaku.jp/summary/index.html</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: 花園大学 ZEN to you&you 中期ビジョン 2021	対象年度: 2017~2021年度 )
公表方法: <a href="https://www.hanazono.ac.jp/about/vision_2021.html">https://www.hanazono.ac.jp/about/vision_2021.html</a>	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.hanazono.ac.jp/about/evaluation.html">https://www.hanazono.ac.jp/about/evaluation.html</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="http://www.jiheer.or.jp/kikanbetsu/2013_03/27hanazono.pdf">http://www.jiheer.or.jp/kikanbetsu/2013_03/27hanazono.pdf</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文学部
教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://www.hanazono.ac.jp/education/literature/">https://www.hanazono.ac.jp/education/literature/</a> ）
（概要） 文学部の教育研究上の目的は、建学の精神に基づき、仏教学・日本史学・日本文学にわたる専門的知識と技術を修得させることである。 それはまた、「己事究明」を基盤とし、仏教学・日本史学・日本文学にわたる専門的知識・技術を身に付けることを通して、自分が素質として本来持っている力を発見することである。さらには、周りにいる人間の多様性を理解した上で、問題・課題の解決につながる思考・判断をすることができ、コミュニケーション能力を活用し、「利他の精神」に基づいて、社会に貢献することができる人材を養成することである。
卒業の認定に関する方針 （公表方法： <a href="https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#diploma01">https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#diploma01</a> ）
（概要） 人間という存在の本質について深く考え、その人間によって構成される社会の在り方に関して深い洞察力を身に付け、すぐれた社会人としての見識を獲得したことをもって、本学部の学位授与要件とする。単なる知識の習得にとどまらず、社会の中で正しく生きていくための幅広い素養が学生の身についたことを確認することが、本学部の学位授与方針の第一義である。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法： <a href="https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#curriculum01">https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#curriculum01</a> ）
（概要） 建学の精神に基づき、人間の社会的活動を正しく分析し、その本質を見抜く能力の育成を目指す。堅実な情報収集、客観的視点による状況分析、的確な情報発信などを可能にする基礎力を養成し、それを土台として、学生個々人がそれぞれのテーマに沿った具体的研究活動を完成するに至るまでのプロセスを確実に実行できるような人材を養成する。
入学者の受入れに関する方針 （公表方法： <a href="https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#admission01">https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#admission01</a> ）
（概要） たゆまぬ自己追究・自己変革を続けようという意志を持つとともに、以下にあげる基礎的な学力を備えていることを入学の要件とする。 （知識・理解） ・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な課題を解くことができる。 （思考・判断） ・ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。 （技能・表現） ・自分の考えを、日本語で他者からもわかりやすく文章表現ができる。

学部等名 社会福祉学部
教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://www.hanazono.ac.jp/education/social_welfare/">https://www.hanazono.ac.jp/education/social_welfare/</a> ）
<p>（概要）</p> <p>社会福祉学部の教育研究上の目的は、建学の精神に基づき、臨床心理学・児童福祉学を含む社会福祉学全般にわたる専門的知識と技術を修得させることである。</p> <p>それはまた、「己事究明」を基盤とし、社会福祉学全般にわたる専門的知識・技術を身に付けることを通して、自分が素質として本来持っている力を発見することである。さらには、周りにいる人間の多様性を理解した上で、問題・課題の解決につながる思考・判断をすることができ、コミュニケーション能力を活用し、「利他の精神」に基づいて、社会に貢献することができる人材を養成することである。</p>
卒業の認定に関する方針 （公表方法： <a href="https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#diploma01">https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#diploma01</a> ）
<p>（概要）</p> <p>利他の精神による社会への参加・貢献の精神と、他者を認め、理解する能力が身につけていること、さらに進んで、たゆまぬ自己追究と自己変革を通じて、伝統文化への深い理解と継承を図り、現代における諸課題に対応できる高度な教養と学術を身につけることにより、建学の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」の理念が具現化できていることをもって、本学部の学位を授与する要件とする。</p>
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法： <a href="https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#curriculum01">https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#curriculum01</a> ）
<p>（概要）</p> <p>建学の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」に基づき、臨床心理・児童福祉を含む社会福祉全般の理論と技術を習得する教育研究を通じて、利他の精神による社会への参加・貢献の精神と、他者を認め、理解する能力を養成し、現代的課題に対応する高度な教養と学術を身につけた人材を養成する。</p>
入学者の受入れに関する方針 （公表方法： <a href="https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#admission01">https://www.hanazono.ac.jp/about/kyogaku.html#admission01</a> ）
<p>（概要）</p> <p>たゆまぬ自己追究・自己変革を続けようという意志を持つとともに、以下にあげる基礎的な学力を備えていることを入学の要件とする。</p> <p>（知識・理解）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校で履修した主要教科・科目について、教科書レベルの基礎的な課題を解くことができる。</li> </ul> <p>（思考・判断）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある事象に対して、他者の立場に立って考える事ができる。</li> <li>・ある事象に対して多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。</li> </ul> <p>（技能・表現）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを、日本語で他者からもわかりやすく文章表現ができる。</li> </ul> <p>（関心・意欲、態度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来、社会福祉の仕事に就く意欲が高い者。</li> <li>・長期の実習に熱意をもって取り組める者。</li> </ul>

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.hanazono.ac.jp/about/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
文学部	—	28人	5人	4人	0人	0人	37人
社会福祉学部	—	18人	5人	12人	0人	0人	35人
国際禅学研究所	—	0人	1人	0人	0人	0人	1人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			196人				196人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="http://www.hanazono.ac.jp/education/teaching_staff.html">http://www.hanazono.ac.jp/education/teaching_staff.html</a>					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>F D研修を毎年複数回計画的に実施している。ただし、2018年度は授業方法の改善に向けて、授業の目的と到達目標等をシラバスに明記することを中心とした「シラバス作成方法についての研修」を1回実施した。</p> <p>1. 本学のシラバス作成要項に沿って、以下の特に留意しなければならないポイントを中心に解説する。</p> <p>①課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法の記載、②授業における学修の到達目標及び成績評価の方法・基準の記載、③到達目標に「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）と当該授業科目の関連」を記載、④準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間を記載。</p> <p>2. 「大学教員のための授業方法とデザイン（佐藤浩章編, 玉川大学出版部, 2010）」を参考に、「シラバスの定義」の確認や「授業の目的と到達目標」の書き方の確認と説明を実施する。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	160人	220人	138%	655人	696人	106%	0人	3人
社会福祉学部	245人	283人	116%	965人	907人	94%	0人	3人
合計	405人	503人	124%	1,620人	1,603人	99%	0人	6人
(備考)								



b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	182人 (100%)	4人 (2.2%)	143人 (78.6%)	35人 (19.2%)
社会福祉学部	232人 (100%)	1人 (0.4%)	190人 (81.9%)	41人 (17.7%)
合計	414人 (100%)	5人 (1.2%)	333人 (80.4%)	76人 (18.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) N T T 西日本、日本赤十字社、東急リバブル、吉忠マネキン、愛媛銀行、京都府埋蔵文化財調査研究センター、社会福祉施設多数、幼稚園、保育所、奈良教育大学大学院、兵庫教育大学大学院 ほか				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
文学部	218人 (100%)	161人 (73.9%)	14人 (6.5%)	40人 (18.3%)	3人 (1.4%)
社会福祉学部	268人 (100%)	209人 (78.0%)	19人 (7.1%)	37人 (13.8%)	3人 (1.1%)
合計	486人 (100%)	370人 (76.1%)	33人 (6.8%)	77人 (15.8%)	5人 (1.2%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバスについては、例年1月上旬を締切として前年11月に作成依頼をしている。作成にあたっては、「講義概要(シラバス)作成要項」と入力用の「WEB シラバス教員用マニュアル」を配布している。</p> <p>授業の概要、授業計画表、到達目標、成績評価方法や留意事項など、それぞれ詳細に説明し作成依頼をおこない、教員が直接入力し作成している。</p> <p>全科目のシラバスを、学務課並びに第3者(学部長・学科主任等)が内容をチェックした後、単位登録開始時期に合わせて、3月下旬頃ホームページに公表している。</p> <p>実務経験のある有無については、3月以降に調査したため、今年度シラバスへの掲載に間に合っていない。次年度は、様式上、欄を設け記載することとしている。</p> <p>両学部(全学)で同一内容。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
到達目標に対する達成度を基に評価方法及び基準（定期試験、小テスト、課題レポート、授業での発表、提出物、授業態度等）をシラバスに明記し、それに基づいて総合的に評価している。				
文学部では、人間という存在の本質について深く考え、その人間によって構成される社会の在り方に関して深い洞察力を身に付け、すぐれた社会人としての見識を獲得したことをもって、本学部の学位授与要件とする。単なる知識の習得にとどまらず、社会の中で正しく生きていくための幅広い素養が学生の身についたことを確認することが、本学部の学位授与方針の第一義である。				
また、社会福祉学部では、利他の精神による社会への参加・貢献の精神と、他者を認め、理解する能力が身につけていること、さらに進んで、たゆまぬ自己追究と自己変革を通じて、伝統文化への深い理解と継承を図り、現代における諸課題に対応できる高度な教養と学術を身につけることにより、建学の精神である「禅的仏教精神による人格の陶冶」の理念が具現化できていることをもって、本学部の学位を授与する要件とする。				
卒業に必要となる単位数は全学部で124単位となっており、卒業判定については、4回生の受講登録終了後、前期成績確定後、後期成績確定後の年間3回にそれぞれ担当者による目検で複数回実施し、連合教授会の議を経て、学長が決定している。				
学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部	仏教学科	124 単位	有 無	48 単位
	日本史学科	124 単位	有 無	48 単位
	日本文学科	124 単位	有 無	48 単位
社会福祉学部	社会福祉学科	124 単位	有 無	48 単位
	臨床心理学科	124 単位	有 無	48 単位
	児童福祉学科	124 単位	有 無	48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： <a href="https://www.hanazono.ac.jp/about/facilities/">https://www.hanazono.ac.jp/about/facilities/</a>
---

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
文学部	仏教学科	826,000 円	200,000 円	220,000 円	
	日本史学科	826,000 円	200,000 円	220,000 円	
	日本文学科	826,000 円	200,000 円	220,000 円	
社会福祉学部	社会福祉学科	829,000 円	200,000 円	220,000 円	
	臨床心理学科	829,000 円	200,000 円	220,000 円	
	児童福祉学科	829,000 円	200,000 円	220,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生支援力の強化をめざし、学生一人ひとりが安心して学業に専念し、充実した学生生活を送り、社会に貢献できる力を身につけることができる体制を構築している。 奨学金制度や授業料減免制度を充実し、学生への周知を図り、有効な運用している。 また、アルバイトの紹介など経済的支援をサポートしている。 学生の多様な相談や問い合わせについて、事務局学生生活担当部門だけでなく、教員による担任制度も運用を開始し、様々な修学に係る問題を迅速かつ丁寧に対応している。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>就職活動を行う卒業年次生を対象として「社会へ出る」という意識を高め、しっかりと準備をするために、本学では、就職ガイダンスを実施している。昨今、就職支援のナビサイトやインターネットによる情報により、就職活動への準備を早くからしなくてはいけない風潮、「就活ファッション化」とも思えるような一種の流行に翻弄されてしまうような現状がある。このような状況できちんと職業選択が行えない、焦ってしまう学生もいることから本学ではしっかりと学業に専念できる事を第一に考えて、早急な準備をあえて実施していない。必要な支援を適切なタイミングで実施している。 就職活動も、ただ単に内定を勝ち取る事、良い会社に入る事だけを目的にしていない。自ら考え、自ら行動する、建学の精神「禅的仏教精神による人格の陶冶」に基づき、「今、ここ」を自身で見つめ、行動することで将来につながるための教育のひとつとして就職活動を考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別相談 (キャリアカウンセリング)</li> <li>・インターンシップガイダンス</li> <li>・各種資格ガイダンス</li> <li>・就職総合ガイダンス</li> <li>・就職支援講座</li> <li>・公務員ガイダンス                    など</li> </ul>

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

本学では、さまざまな障害のある学生が在学して勉学に励んでいる。(視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・発達障害・精神障害・病弱など)

配慮が必要な学生一人ひとりの状況にあわせて、学生相談支援室を中心に、学内の各部署が連携し授業の配慮体制を整え、障害の有無にかかわらず公平に勉学に励むことが出来るようにしている。

【支援内容】

- ・入学予定者の事前相談
- ・入学時の学校生活支援、単位登録指導
- ・学習支援 (予習、レポート・課題作成、試験対策)
- ・要支援学生の「居場所」としての機能

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法 : <https://www.hanazono.ac.jp/about/disclose/>